



# 「ステージは『世界』だ！」～岡山発グローバルリーダーの育成～

## 研究開発の背景 スーパーグローバルハイスクール（H26～30）としての研究実践を発展・充実

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題研究に必要な基礎的スキルの定着</li> <li>・ チーム力やプレゼン能力の向上(異力の統合)</li> <li>・ 海外研修等による異文化理解の深化</li> <li>・ 思考力や言語活動を重視した授業改善</li> </ul> | <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の理解や地域との関わり</li> <li>・ 課題研究と学類の強み・専門性との関連</li> <li>・ 英語力強化の取組と全校・他校への普及</li> <li>・ 課題研究等で得られた知見を生かした自主的な実践</li> </ul> |
|--|---|

## 研究体制コンソーシアム

岡山県内の関係機関と連携しながら、県全体をフィールドとして生徒が活動



## 令和3年度の目標

### ①地域密着の課題研究

- ・ 「GLOBAL I」では、生徒一人一台端末の活用を図るとともに、これまでの成果と課題を踏まえた実践を行う。
- ・ 企業訪問において、よりキャリア教育の観点も加味しながら、これまでの成果と課題を踏まえた実践を行う。
- ・ 「GLOBAL II」と学類コア科目（学校設定科目）では、これまでの成果と課題を踏まえた実践を行う。
- ・ 「GLOBAL III」では、作成したシラバスを基に実践を行う。

### ②異文化交流の深化

- ・ CAN-DOリストを基に、高度な英語運用能力を育成する授業展開について、これまでの成果と課題を踏まえた実践を行う。
- ・ オンラインも活用した海外研修、海外交流等で、プレゼンテーション力、コミュニケーション力の育成を図る。

### ③自主性・自律性を育成する取組

- ・ 学類の専門性を活用したボランティア活動について、これまでの成果と課題を踏まえた実践を行う。

## 取組状況

- ・ SDGsや地域課題に関連した課題研究、キャリア教育も踏まえた企業訪問の改善実施
- ・ 一人一台端末やクラウド機能を活用した課題研究
- ・ 2時間連続の「GLOBAL II」「学類コア科目」の実施
- ・ 「GLOBAL III」の実施

- ・ 大学教員を招聘し校内研修、研究授業を実施、CAN-DOリストの改善や活用
- ・ ハーバード大学、留学生によるディスカッションや課題研究交流
- ・ オンラインを活用した異文化交流、留学生との交流

- ・ 学類の専門性を生かした社会貢献活動やボランティア活動の実施
- ・ オンラインを活用した活動の実施

## 成果

- ・ スキル学習、講演会、企業訪問、地域密着の課題研究の一連の流れが確立し、他者と協力した課題解決能力やグローバル視野の育成に繋がった。
- ・ 「学類コア科目」を研究分野の柱とし、学類の特色を生かした専門性の高い課題研究を充実させ、生徒の主体的な学びや表現力の育成に繋がった。
- ・ CAN-DOリストの改善、研究授業、オンラインの活用、学習評価の充実により、CEFR（B1）の生徒が増加した。
- ・ 有志ボランティア活動の参加数の増加や、自主的な生徒会活動により、社会貢献の意識や自治意識が向上した。

## 課題

- ・ SDGsに関連する世界的な解決課題や、地域社会の改善に繋がる提案などの課題研究、教科横断的な学びによる、さらなる創造的思考力の育成
- ・ 自己評価シートや一人一台端末の活用によるスピーキング能力の向上
- ・ 社会貢献活動の意味や意義を感じられるよう、事前指導や振り返りの充実、キャリア・パスポートの活用など、自己探求や自己実現に繋がる工夫